

※The speech will be in Japanese, but all the slides are presented in English.

S-SPRING Seminar

持続可能な社会構築に向けた島根大学高度人材育成プロジェクト

本田 知之 教授

(岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科・病原ウイルス学)

令和4年 12月 9日 (金) 午後4時30分- 6時

島根大学医学部講義棟1階

(国際交流ラウンジ)



内在性ウイルス様配列とその功罪

Endogenous Viral Elements - Friend or Foe?

ヒトゲノムの約40%が、レトロトランスポゾン（転移因子）によって占められています。その中でも、LINE-1 (long interspersed nuclear element-1) は、現在もゲノム上で転移を繰り返しています。最近の研究から、これらレトロトランスポゾンと様々なウイルス間に相互作用があることがわかってきました。この相互作用の実態とその意義・メカニズムについて、様々なウイルスを用いて幅広く研究しています。

主催： 持続可能な社会構築に向けた島根大学高度人材育成プロジェクト

連絡先： 島根大学医学部微生物学講座 吉山または倉内 TEL 0853-20-2148

【博士課程】 腫瘍生物学Ⅲ (D26)、基礎免疫学Ⅰ (D75)、感染症学Ⅰ (D83)、機能性物質・食品の医療応用と環境影響 (D100)

【修士課程】 病理病態学 (M4)、腫瘍の発生・増殖とその制御 (M23)、免疫学（生体防御システム学） (M20)、機能性物質・食品の応用の基礎 (M30)